ウサギの食事

改訂版

2007

すすきの動物病院

〒225-0021 神奈川県横浜市青葉区すすき野 3-7-3

TEL 045-904-2066

ウサギの飼い方（食事編）

ペレットは本当に良い食べ物なのか？

どの飼育書をみても、ペレットを勧めるものばかりです。
何の疑いもなく与えていたペレットは本当に優れた食品なのでしょうか？

はじめに

ウサギの食生活は近年になって少しずつ良いものになってきています.

依然として間違った食生活や飼育方法により、いろいろな疾病を招いています。慢性的な腸炎、毛球症、肥満、不正咬合、膀胱結石などの疾病は食事の管理をしっかりすることである程度予防することが可能です。

今まで好んで食べるからという理由で、ウサギの食事を選んでいませんでしたか？
ウサギが好む食べ物が必ずしも良い食事という訳ではありません。

我々が毎日の様に食べ放題の店に食事行き，好きだからという理由でプリンやジュースしか食べないでいたらどうなるか容易に想像できると思います。

ここでは、基本的な食事について述べていきます。基本的なことですが、この部分がきちんと理解していなければ、何かの疾病にかかってしまったとき診断が遅れ、あるいはリスクのある処置をしなければならない結果を招きかねません。
ウサギは飼い主からしか食事をもらうことはできません。ですからウサギに適した食生活を考えてあげるのは飼い主のつとめでもあります。
できるだけ丁寧に書いたつもりですが、わかりにくい表現もあるかも知れません。わからないときは気軽にメールでも送って下さい。できるだけ、早く反映できる形を考え pdf ファイルでの配布を行っております。

２０００年２月吉日

すすきの動物病院
堀　雅人

【注意 1】ここで言うペレットは繊維質含有量が１５～１６％以下の国産品に多く見られるものを指しています。最近では外国製の繊維質の高いペレットも一部のショップで販売されるようになってきています。

【注意 2】すべての個体に本書に記載されていることが当てはまるわけではありません。
食事の切り替えやなどを行う前に、動物病院での受診をお勧めします.

目次

Chapter 1　まずウサギについて知りましょう。

ウサギの特徴 ---------- 4

Chapter 2　ペレット

序文 ---------- 5

ペレット単独給餌の弊害 ---------- 6

1　毛球症 ---------- 7

2　腸炎 ---------- 8

3　肥満 ---------- 9

4　不正咬合 ---------- １０

5　膀胱結石 ---------- １１

Chapter 3　推奨するウサギの食事

序文 ---------- １２

野菜 ---------- １３

干し草 ---------- １３

水 ---------- １４

ペレット ---------- １４

Chapter 4　注意が必要な食事類

序文 ---------- １５

ウサギのおやつ ---------- １５

絶対に与えてはいけない野菜 ---------- １５

与えない方がよい野菜 ---------- １６

その他 ---------- １６

栄養補助食品の有用性 ---------- １７

蛋白分解酵素 ---------- １７

ヨーグルト ---------- １７

毛球予防薬 ---------- １８

Chapter 5　野菜への切り替え

野菜への切り替え ---------- １９

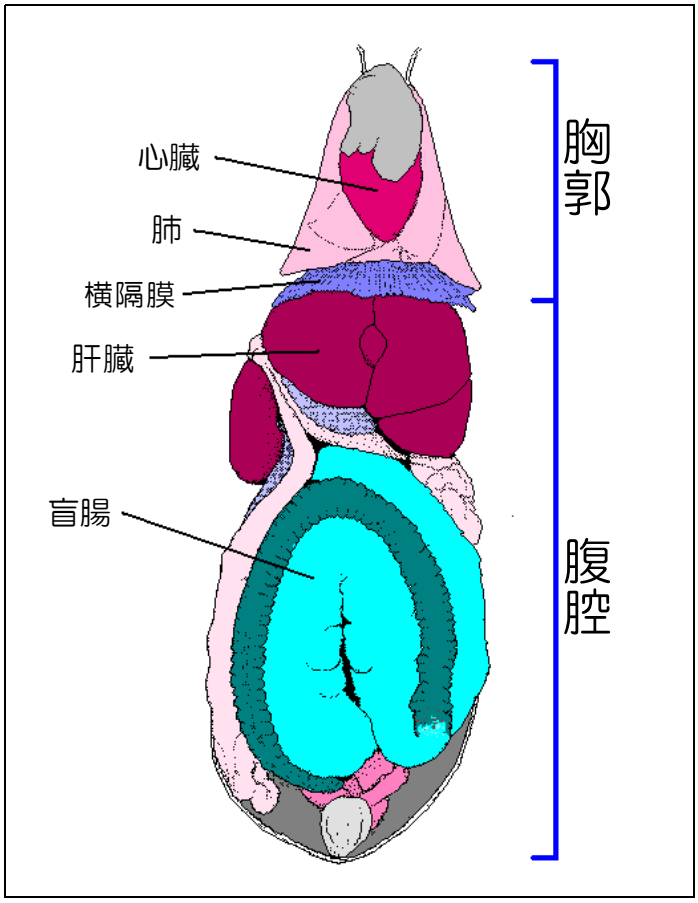
あとがき

CHAPTER 1

まずウサギについて知りましょう。

ウサギの特徴

ウサギは我々とは異なり、植物を食べて筋肉や皮膚などといった動物性の蛋白を合成することができる草食動物です。ですから、我々とは異なった消化機能を持っており、その食事には特に留意する必要があります。



ウサギの解剖学的な特徴です。盲腸は腹腔の約 2/3 を占めるほど大きく、中には様々な微生物が存在しており、食べた植物を分解しアミノ酸やビタミンなどを合成しています。

これらの栄養分は「盲腸糞」「夜便」あるいは「栄養糞」などと呼ばれ、明け方に直接肛門に口を付けて食べてしまいます。 よく「食糞が小屋に落ちている」という方がいらっしゃいますが、これは下痢であることがほとんどのため，盲腸糞とは明確に区別しなければいけません。

次に体の割に胸郭が小さいということも大きな特徴です。肺が小さくても必要とする酸素は大きく変わりませんから，ウサギは安静時でも呼吸は小さく早く行い，必要な酸素を確保しています.

これは大切な肺を小さくしてまで盲腸の容積を稼ぐ必要があったことを物語っています。

余談ですが、肺が小さいということはあまり運動をしない動物ということでもあります。体温の調節も耳で行い（ラジエーター代わり血液を冷やす）、汗をかくことはありません。これはウサギの生活を見てもわかります。普段は足下の植物を食べており、運動するのは外敵に襲われ巣穴に駆け込むときくらいです。行動する時間も夜間のため、太陽による気温上昇はありません。

体温を下げるためにウサギができること.

1）耳の血管を拡張させて熱を逃がします.

2）体を伸ばして横たわり腹部と床面との接触面積を増やして，そこから熱を逃がします.

3）呼吸数が増し，呼気中から熱を逃がします.

ウサギはこの方法でしか熱を放出できません．夏場などはエアコンを入れておくと良いでしょう．ただし，エアコンを入れていても上記のような姿勢をとる場合はまた暑いと感じているサインですから，温度を下げるか，保冷剤の併用をおすすめします.

保冷剤はペットボトルに水を入れて凍らせた物なので結構ですのでケージの外に置いてください．ウサギ本人が暑く感じているのなら保冷剤のそばに寄ってきますし，そうでなければ離れてしまいます．ある温度以下はウサギ本人が選択できる環境が理想的です.

CHAPTER 2

ペレット

序文

さてウサギはペットとしての歴史よりも、産業動物として食用、毛皮、実験動物という役目を果たしてきました。食用ウサギなどは生後３ヶ月くらいで出荷出来るため、それから先の生活のことを考える必要が無かったのです。

つまり産業動物に求められる食事というのは、

1　無駄なく理想的な成長をすること。

2　低コストであること。

3　取り扱いや保存が容易であること。

などを満たすようなものなのです。

しかし、我々が飼育しているウサギはペットとして飼育されるものであり、短命で良い筈はありません。これからはいかに健康的で長生き出来る食事は何かということを考えていく時代になってきているのです。

国産のペレットは．．．

高蛋白、高カルシウム

低繊維質

高カロリー

それでは一般的に販売されているペレットはどのようなものなのでしょうか。

これはマメ科の牧草であるアルファルファを主成分として作成されているために

高蛋白、高カルシウムの食事となっています。これは成長期や妊娠中授乳中の

栄養が必要な時期には向いていますが、成ウサギが日常食としていると過剰な栄養を摂取する可能性があります。

また、低繊維食であることから胃腸疾患を引き起こすこともおおいため、幼少期に与えるとしても、単独での給餌は避けるべきでしょう。

最近は膀胱結石を予防するという目的で低カルシウムにしてあったり，カロリー控えめと書いてチモシーの割合を増やしている物も出てきています.

それだけ読むと安心してしまいそうですが，必ず「粗繊維」が 20%以上含まれていることを確認して購入するようにしましょう.

ペレット単独給餌の弊害

では、粗繊維の少ないペレット[1]を単独で給餌した場合、どんな弊害があるのでしょうか？

発生する可能性が高いものとしてまず、消化器症状が挙げられます。腸炎と毛球症は繊維質の不足により発生します。

糞が小さい、ブドウの房状、下痢、糞の数が少ない、便が全くでないというのはウサギの下痢の症状ですから、腸炎が起こっているのだと言うことを覚えておいてください。

また、ペレットは高カロリーのため肥満を引き起こします。そして粉を固めてあるので、咀嚼回数が少なくて食べることができますから歯の切削摩耗する量が不足しますので後天的不正咬合を招く危険があります。

またカルシウムの含有量が多く、水分の少ない食事を与えているとカルシウムを大量に含む尿が形成され膀胱に蓄積されます。この結果膀胱内に結石を形成することになります。ちなみに、ペレットを単独給餌した場合の寿命は2-3歳であると米国で報告されています。

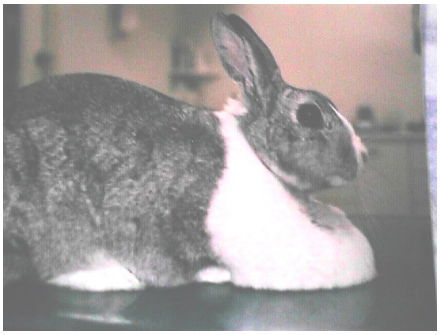
ウサギがペレット中心の食事をしていた場合に多く起こる代表的な疾病には次の様なものがあります。

1　毛球症
2　腸炎
3　肥満
4　不正咬合
5　膀胱結石

これらについて、これから説明していきます。

[1] ここで言うペレットは現在日本で販売されており、繊維質の含有量が16%以下のものを指します。

肉垂



メスのウサギには肉垂という襟巻きの様な皮膚のたるみが首のところにあります。
肉垂は脂肪のかたまりで、ここに栄養を貯めて
寒い冬を越すことができます。ただ、家で飼育するペットウサギは毎日食事をもらうことができますから大きすぎるのも問題です。
ここの大小だけで肥満の確認はできません。

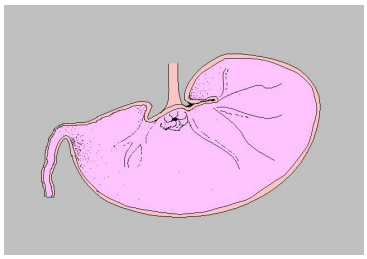
① 毛球症

ウサギの被毛が胃につまり、食欲が廃絶してしまう病気を「毛球症」と言います。この病気の殆どはアンゴラなどの長毛種に見ることがあります。それにも関わらず短毛種のウサギにも多く報告がみられます。これはなぜでしょう？

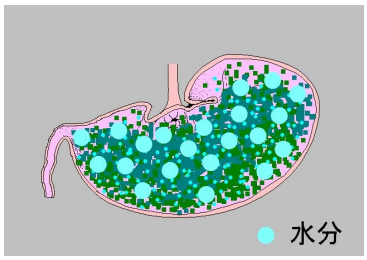
実は「毛球症」と診断される疾病の多くは「胃停滞」や「異物による胃閉塞」と言われる別の病気なのです。もちろん、どちらも胃の内容物が留まり閉塞を招いてしまう病気ですが、病気の発生機序が異なり、前者は被毛が綿球のように絡まり胃に詰まるものに対して、後者は食事中の繊維不足により胃腸の運動性が低下することで起こります。結果は同じ閉塞でも、原因を正しく理解しておくことで予防することが可能となります。

低繊維質の食事を与えているときの

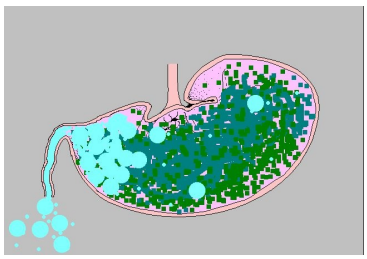
「胃停滞」「胃鬱帯」の発生機序



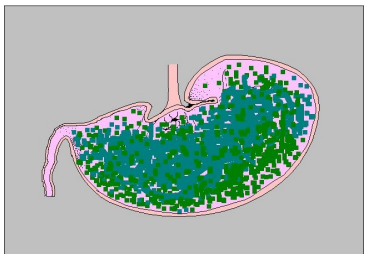
① 空腹時の胃
ウサギは食事を常にしているので、通常はこのように空の状態には無い。



② 食物が胃の中に入ってくるが．．．



③ 繊維不足により胃腸の運動性が低下しているので、移動しやすい水分が先に胃から出てしまう。
これは食事の含水量が少なければ顕著になる。
乾燥したものだけを給餌しないのはこのためである。



④ 水分の含有量が少なくなった胃内容物は胃から排出されにくくなり、胃停滞を起こす。

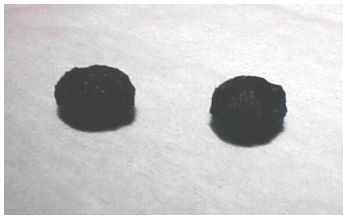
ただ間違えないでいただきたいのは、食事を改善することで予防が可能なのは「本来の毛球症」であり、異物の嚥下による胃閉塞や、ストレスなどからくる胃停滞などが発生する危険は常に存在するということです。新聞紙や段ボールなどを囓るウサギでも食事がしっかりしていればその殆どは大きな症状を見せることなく糞として排泄されますが、だからと言って安心して良いわけではないのです。

② 腸炎

具合が悪いと言って来院するウサギで比較的多いのがこの腸炎です。腸炎と一言に言ってもその原因は様々で、ペレットやクッキーの多給だけでなく、寄生虫、肥満、子宮腺癌，不正咬合，その他の疾病でも非特異的にみることのできる状態です。軽度の腸炎なら糞の形が不揃いになるなど下痢の症状が見られるだけですが、重度になると食欲不振、さらにひどくなると胃停滞を引き起こすことや、死亡することもあります。

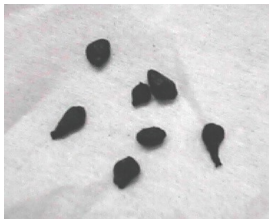
ペレットなどの低繊維質の食事を多給することで、胃腸の運動性は低下します。
そうすると盲腸内の細菌叢などのバランスが崩れ腸炎を引き起こすのです。
もし便の状態が不安定でも食欲があるのなら、干し草を与えることで改善を見ることがあります。しかし食事を改善しても便が安定しないのなら何か他の原因が考えられます。動物病院での診察を受けることをお勧めします。ひどくなる前に見てもらいましょう。

【 糞の形態 】



正常糞
正常な糞は丸く、
粒は大きく揃っている

腸炎の時



粒が小さい

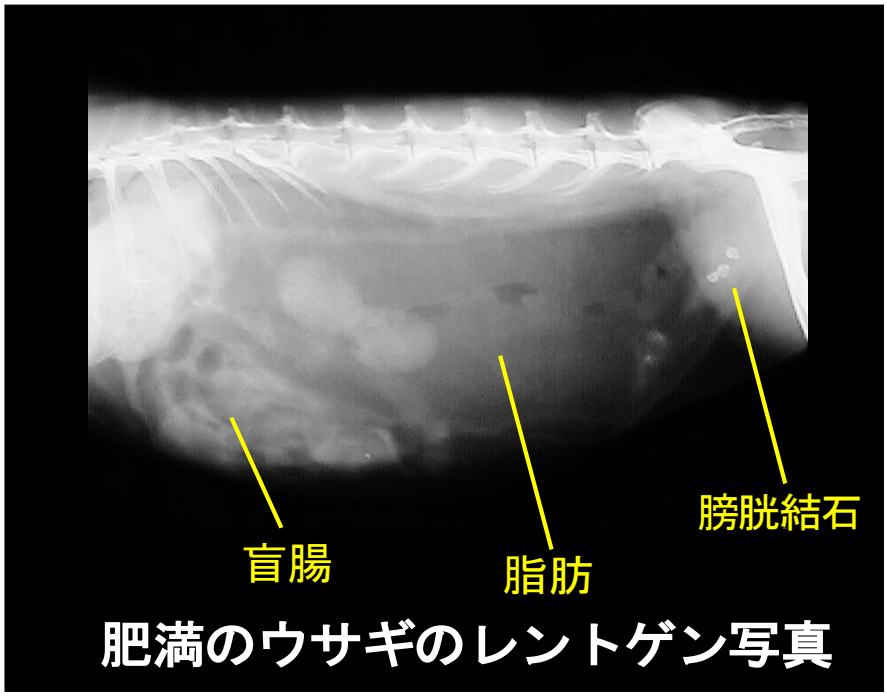
ブドウの房状

③ 肥満

ペレットやクッキーなどを与えていると、慢性の腸炎を起こすことがあります。
低繊維質の食事は消化管の運動性を低下させ、その結果腸の細菌叢が崩れますから、正常な盲腸内発酵が出来ず、下痢を引き起こします。高カロリーの食事を続けていると、早ければ生後１年を越えたあたりから腹腔内に脂肪が蓄積してきます。ウサギは肥満になっても皮下脂肪はあまりつきませんから、発見は遅れることが多いようです。

さて腹腔内に脂肪が蓄積した場合、どんな問題が起こるのでしょうか。
前述したとおり、ウサギの盲腸は巨大で腹腔の殆どを占めていますが、肥満になると腹腔内に脂肪が蓄積し盲腸が圧迫され縮小します。縮小した盲腸では正常な発酵を維持することが難しいため、腸炎を起こしやすくなるのです。肥満のウサギに腸炎の症状を示す個体が多いのはこういう理由からです。また肥満が原因で食欲の廃絶を見た場合、最悪の場合死亡することがあります。これは治療しても腹腔内に存在する脂肪そのものを減らすのに時間がかかるからです。たかが肥満ですが、草食動物の場合、それは命にも関わる重大な疾病なのです。

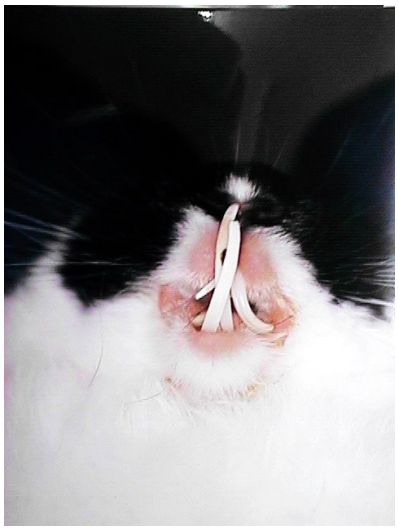
「うちのウサギはおなかが出ているので肥満ではないか」と相談を受けることがあります。ウサギは盲腸が発達しているので正常でも腹部は横に大きく張り出しています。しかし肥満の時も同様に見えることがあるので、肥満の判断は動物病院での診察が必要です。



肥満のウサギのレントゲン写真

このレントゲンでは腹腔内に蓄積された脂肪により盲腸は頭側方向の腹腔に押しやられ正常な発酵が出来なくなっています。このため慢性的な腸炎を発症しておりました。また、腎臓周囲脂肪に蓄積が多いせいか、腎臓も正常な位置よりも下方に変位しています。ちなみにこの症例では膀胱結石も数個確認できます。

④ 不正咬合



さて次に不正咬合ですが、これはペレット主体の食事を与えていると後天的に発生することがあります。

ウサギの歯は常生歯といい、常に伸び続けています。ですから永久歯を持つ犬や猫は一日 2-3 回の食事で問題はありません。しかし牛はどうでしょう？————放牧という形で一日中食事をとれるようにし、牛舎に帰れば干し草と濃厚飼料（ペレットに該当）が与えられています。つまり一日中食べているのです。それ故にたくさん刃を使うことになり，それは歯の摩耗を意味します.
このような食事をしているので摩耗した分を補充できる常生歯という形態をとらざるを得ないのです。

ペレットのような高栄養のものしか与えない場合、その量は少ないものとなり咀嚼回数は少なくなります。そのためウサギは壁紙をはがしたり、カーペットを食べてしまう等のいたずらもひどくなり、異物嚥下による胃腸の閉塞を招く危険すらあります。（これは食事を完全に変えても改善されないこともあります）
何よりも問題なのは，その噛み方です.
干し草や野菜は臼歯を平行に近い形ですりあわせて，細かく砕いていきます．この租借の動作がもっとも自然に近い形であるのですが，ラビットフードはその粒を縦（垂直方向）に噛んでつぶすように食べますから歯根の細胞に負担がかかるのです.
ウサギがラビットフードをポリポリと音を立てながら食べていると，なんだか食べている感じが伝わってうれしい気持ちになるのも分かりますが，臼歯には大変大きな負担がかかっていることを忘れてはいけません.

そして，これは下顎骨の変形を招く原因の一つにも考えられています.

野菜、干し草などをあたえることで咀嚼回数も増え、先天的な異常が無ければ歯の咬合は正常に保たれることになります。硬いもので歯を削るという発想はもう過去のものと成りつつあります。

これは使えるの？

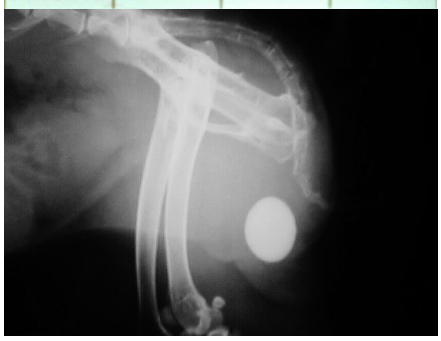
ニンジンの形をした固い副食を見たことがありますか？
これは歯を削る目的で販売されているものですが、
後天的不正咬合を予防する働きはありません。それどころか、カルシウムの固まりなので膀胱結石を引き起こす可能性が高く与えない方が良いでしょう。

⑤ 膀胱結石

　ウサギは体内に吸収した過剰なカルシウムを尿から排泄するため他の動物に比べて膀胱結石が多いようにも感じます。ペレットはアルファルファ主体のためカルシウムの含有量が多く、成ウサギがこれを主食としていると、過剰なカルシウムは尿中に排泄されます。
しかしペレットと干し草など含水量の少ない食事を採っていると、一日に生成される尿量は減少します。そうなると尿の回数も減少しますので、長時間膀胱内に高カルシウムの尿が貯留します。その結果膀胱結石を形成する事になります。

　そこで含水量の多い野菜を与えることで血液の循環も良くなり、尿量も増加しますし、全体でのカルシウム含有量も少ないことから膀胱結石の予防にもなります。毎年のように膀胱結石になっていたウサギが食事の改善により、その発生を見なくなっているのはこうしたものが理由の一つとなっています。

尿道結石



これは膀胱ではなく尿道にできた結石です。この成分の99%は炭酸カルシウムで、尿道の途中で結石を形成していました。

CHAPTER 3

推奨するウサギの食事

序文

さて、それではウサギには何を与えればよいのでしょうか？

大切なことは、以下のような点でしょう.

1　繊維質を十分に含んでいること、

2　正常な咬合が保てるように十分な咀嚼が可能なもの。

3　盲腸内の水和が保てるように水分を含んだもの。

ウサギに与えるもの
大量の干し草（常時）
適量の野菜
水
ペレット（以下の場合）
成長期、妊娠期、授乳期に体重の 4-5%相当

以上の条件を満たしたものが良いでしょう。

それぞれ、与えなければいけない理由として次のことがあります。繊維質を十分に含んでいる食事は、正常な消化管の運動を促し、盲腸の細菌叢のバランスを良好に保ち下痢を起こしにくくなります。

咀嚼回数の多い食事は、正常な歯の切削が可能となるため、不正咬合の予防となります。その点いくら繊維質の多いペレットでも水でふやかすと粉状になるため、歯の切削という意味ではあまり大きな効果は期待できません。

　最後に一番大切なのは、盲腸の水和が保てるように水分を含んだ食事を与えることです。これは、盲腸で正常な発酵が行われるのに必要なことです。正常な盲腸の発酵は温度、栄養、正常な腸管運動、水分の４つの要素が必要です。温度は体温で、栄養や繊維質は食事から得られます。では水分は飲水からで十分なのでしょうか？

確かに血液の循環や各組織の水和状態が脱水してくると体は水分を欲しがり飲水をするようになります．それでも盲腸内の水和状態を十分に満足させるほどの量は摂取しないことが多く見受けられます.

「水をよく飲むから水分は足りているのだ」とは考えずに「体に水が足らないから，水を飲むのだ」と考えた方が方が良いのです.

　どちらかというと多少過剰気味に水分を与えた方が良い結果が得られるようです。十分な水分は盲腸の水和をはかり、吸収された過剰な水分は尿として排出されます。そのため、ペレットと干草の組み合わせの乾燥した食事よりも大量の排尿をすることになります。このことにより、尿中に排泄されるカルシウムも濃度が高くなる前に排泄されるので膀胱結

石予防にもつながります。また、腎血流量も増加し、腎臓にカルシウムの沈着するのを予防できるのではないでしょうか。

ただし，野菜の量をただ増やせば良いという物ではなく，必ず干し草とともに与えるようにしてください．野菜だけではウサギに必要な繊維は補充できません．
そして干し草と野菜の割合は必ず糞の状態に留意しながら行うように決定しましょう．

野菜

野菜は含水量が多く、盲腸の水和を計り、血液の循環を良くします。
ウサギは他の動物に比べて水分を多く要求します。ある報告では 2kg のウサギは 10kg の犬と同等の水分が必要であると言われています。また乾燥物が胃にある状態で水分をとると胃内容物は拡張し胃拡張を引き起こす可能性もあります。

野菜を与えるときの目安は体格の２～３倍の量を一日二回与えます。
大抵の野菜は大丈夫ですが、中にはいけないものもあります。それは後で述べているので参考にしてください。
野菜のレシピは 20 種類以上用意します。実際に与えるのは 4-5 種類くらいになると思いますが、とにかく同じ様な野菜をずっと与え続けるのは避けた方が良いでしょう。

【与える野菜の例】
小松菜、チンゲンサイ、キャベツ、レタス、大葉、セロリ、パセリ、ブロッコリー、大根葉、カブ、ラディッシュ、ターツァイ、アシタバ、キュウリ、葉大根、アスパラガス、高菜、人参、白菜、などなど

大抵のものは大丈夫。まずは気軽に選んでみましょう。

干し草

さて干し草ですが、何を選べば良いのでしょうか。
短く裁断してある牧草はくしゃみの原因にもなります。この場合は透明な鼻水しかでませんからスナッフルとは区別しなければいけません。ただ、症状が出ていなければ裁断してあるものでも構いません。個人的には長い方がより多く咀嚼するので好きなのですが．．．。
また、「床敷用」の表示しかないものは、殺虫剤で薫蒸してある可能性があります。動物用の食事は PL で規制されるだけなので、表記が床敷きとなっていれば「食べてはいけないもの」

だからといわれておしまいです。もちろんウサギはそんなことはお構いなしに食べてしまいます。また、基本的にはアルファルファだけの牧草も避けた方が無難でしょう。ペレットに比べると繊維の含有量は高く、嗜好性も高いのですが、やはり本来の目的を考えると控えるべきです。与える牧草はチモシーだけの干草でも、混合してあるものでも構いません。ただ、混合してあるものは穀類や豆科の牧草が多く含まれていないものを選んで下さい。干草は一ヶ月で食べきれるくらいの量を購入し、買い置きをしない方が良いでしょう。梅雨から夏にかけてカビや細菌の繁殖場所になってしまうことがあるからです。冬は湿気の少ない冷暗所に保管していれば、大抵は大丈夫です。（もともと、冬季用の保存食ですから。）

最近はチモシーだけでなく，オーツヘイやオーチャードグラスなど様々な干し草が売られています．一番刈り，二番刈りなど刈り入れた時期別の干し草もありますから，いったいどれが良いのか分からなくなってしまう方も増えています．

厳密に言えばそれぞれの栄養価は異なりますが，このあたりは好き嫌いで選んでも，あまり大きな問題にはならないようです．たくさん食べられるものを与えてみましょう．

水

野菜を与えていると水はあまり飲まなくなります。しかし、いつでも新鮮な水を飲めるような環境を用意しておくことは大切なことです。もちろんお皿などに水を入れていても構いませんが、体毛が濡れたりすると細菌や真菌の感染を起こすことがありますので注意が必要です。

ボトルは体が濡れにくく衛生的ですが、洗浄に手間がかかります。ですから給水ボトルは二本用意し、一本は使用し、残り一本は塩素水などに 15 分程度漬けてから良く洗うようにします。

ペレット

BUNNY BASICS /T(oxbow)
最近は繊維質の多く含まれたペレットも出回ってきているが、やはり歯の切削には向かないので最初に選択するべきではない。
しかしこの手のものならおやつとして選択することも可能。

ペレットは、生後 5-6 ヶ月までの仔うさぎや妊娠中、授乳中のウサギには体重の 5 ～10％くらいの量を与えましょう。（品種やペレットの種類により異なります。）

この時期は栄養を必要とするときですから、通常のペレット

でも与えて構いません。ただし、干し草は通常通り与えて下さい。 生後3ヶ月齢くらいまでは野菜は控えめにして，あくまでも食べ物であることを教える程度で十分です．ウサギは今まで食べていたものに対して嗜好性が高いため．仔ウサギのうちから野菜と干し草を与えていないと、大人になったときに食事の切り替えが難しくなります．また繊維質の不足による腸炎を引き起こす可能性もあります。

不正咬合などで十分な量の野菜を食べることができないウサギには外国製の優れたペレットも現在では入手が可能です。たとえば“BUNNY BASICS /T”などは繊維質が大量に含まれており、今まで述べてきたようなペレットの弊害が出にくいペレットです。アルファルファではなくチモシーを原料に作られているので、カロリーも低く成長期や妊娠中、授乳中のウサギには不適当です。

最近ではアメリカンペットダイナー(APD)社から Timmy という粗繊維が 30%程度含まれているものも発売されています．販売店はインターネットなどで調べてください．

ただ、これらのペレットは胃腸には良いけれども，あくまでも粉を固めて作るものです．結局咀嚼回数を増やすことにはなりませんから、その給餌には注意が必要です。

CHAPTER 4

注意が必要な食事類

序文

　ウサギに与えてはいけない食べ物は幾つかあります。
これらについて少し話をしていきましょう。

ウサギのおやつ

　まずウサギのおやつですが、いろいろなものが市販されており、その多くはクッキータイプのものです。これは習慣的に与えるのは考え物です。なぜなら、これらは小麦、糖類で作られていますので、腸炎を誘発する可能性が高いのです。小麦など穀類には炭水化物が多く含まれており、これにより盲腸細菌叢の破壊が起こりやすくなります。この際、クロストリジウムや大腸菌などといった細菌が増殖するのですが、これらの菌は増殖する際糖質をエネルギーとして利用します。上記の細菌類はエンドトキシンという毒素を産生し、ウサギにエンドトキシンショックをおこし死亡させることがあります。悪い条件が重なれば、たった２～３時間で痙攣を起こし死亡します。運良く腸炎を起こさなくても、過剰なエネルギーは脂肪として腹腔内に蓄積されることになります。前述のように肥満は慢性の腸炎を引き起こし寿命を確実に縮めます。

絶対与えてはいけない野菜

ネギ・アボガド、ニンニク、ジャガイモの芽などは赤血球を破壊し、溶血性貧血をおこすと言われていますから、少しでも与えないようにしましょう。食べても影響のないウサギも居ますが、もし中毒を起こす個体だと取り返しのつかないことになりかねません。

与えない方が良い野菜

基本的には炭水化物が多く含まれるような野菜類には注意が必要です。

例えば穀類ですが、米、大麦、小麦、エン麦、トウモロコシなど様々なものがあります。これらも炭水化物の含有量が多いため、多給により腸炎を誘発する可能性があります。同様の理由で芋、カボチャ、ゴボウなど大量に与えないようにしましょう。ナッツ類も腸炎や肥満を招きます。

これらのものは絶対与えてはいけないという訳でないのですが、与えすぎると様々な問題を引き起こす可能性があります。基本的に与えないものと認識しておきましょう。

その他

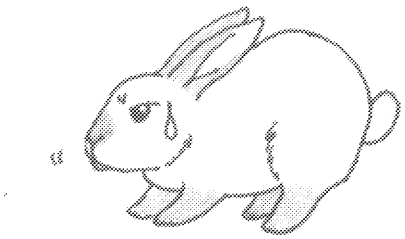
パン、ご飯、煮干し、おやつなどの人間の食べるようなものを与える人も居ます。
これは絶対にやめて下さい。

煮干しですが、たまにウサギの飼育書で見かけることがあります。これはどう考えて草食動物は食べませんよね。煮干しで死亡したウサギも居ますから間違っても与えないようにしてください。

さて、一部の観葉植物でも中毒をおこすことがあります。カポック、朝顔、ポインセチアなど中毒を起こすものは多いので部屋で遊ばせる時は観葉植物をかじれないようにしておくことが必要です。

果物は大丈夫？

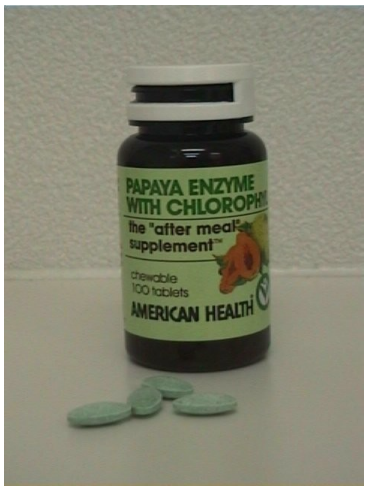
果物は基本的に大丈夫です。しかし、果糖という糖が含まれているため、大量に与えるとやはり下痢を起こすことがあるので、おやつの範疇を越えないようにしましょう。
糞の状態が不安定ないときは与えてはいけません。症状が悪化する場合があります。
バナナは太りやすいので，できれば他の果物で代用しましょう．



栄養補助食品の有用性

わたしはこれらの有用性を否定しています。

蛋白分解酵素（パパイヤ、パイナップルジュースなど）



パパイヤ酵素やパイナップルジュースですが、これらは毛球症の治療、予防によく使われています。これらは何を期待して投与しているのでしょう。そうブロメラインという成分により、毛球を溶かしてやろうという目的です。しかし、酵素には至適 pH というものがあり、この pH の範囲内でしか酵素として作用できません。ブロメラインは pH3-8.5 くらいです。ウサギの胃の pH は２ですから、当然予防的に与えても効果はあまりでないでしょう。

専門書によっては、毛球症をおこしているウサギの胃の pH は３以上あるという記述のものを見受けますが、これは閉塞をおこして長時間経過したものでしょう。私の経験では閉塞があっても胃内の pH はやはり　２でした。また、閉塞をおこしたウサギを胃の pH があがるまで放置せず、内科的治療が困難であればすぐに外科的に問題を解決すべきでしょう。

忘れてはいけないのは、これらウサギの毛球症はその殆どが繊維質不足 ， 水分不足などによる胃腸の運動性低下が根元にあります。ですからその治療は胃腸の運動性を回復させることと、胃内容物の再水和が必要となります。食欲が完全に廃絶しており、スポイトで水を与えても拒む場合は無理に再水和を試みず、外科的に処置すべきでしょう。的の外れた治療は回復を遅らせるだけです。また、外科手術後は必ず食事の改善を行う必要があります。同じ食事を繰り返していると必ず再発します。

ヨーグルト

さて、ヨーグルトですが、これらに含まれる乳酸菌、アシドフィルス菌などは人ではクロストリジウム属、大腸菌などの繁殖を抑制するという報告があります。しかし、うさぎではどうでしょうか？

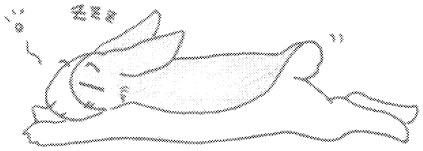
正常なウサギの盲腸内にはこれらの善玉菌は存在していません。つまり正常なウサギの盲腸ではこれらの菌は生きていくことは出来ないと言うことです。しかし、腸炎をおこしている場合は当然盲腸の細菌叢は崩れておりヨーグルトの効果は期待できるかもしれませんが実際に効果があるかは解りません。参考までに述べておきますが、動物の腸内細菌叢をしらべた文献(Mitsuoka & Kaneuchi)がありますが、この報告によるとウサギの糞便中から乳酸菌は検出されませんでした。

毛球予防薬（ラキサトーン、キャットラックスなど）

ラキサトーンもその効果には疑問があります。繊維質不足で起こる胃停滞を油剤で通過しやすく使用としても、胃腸が正常に動いていなければ意味がありません。

逆に繊維質を入れてやることで消化管の運動が正常になれば閉塞も起こしにくくなりますので、これらの油剤も与える意味が無くなります。

また、これを与えるときにウサギの手に塗ったり、口に入れるときに失敗し口の周りにこれらが付着してひどい皮膚炎を起こしたうさぎもいます。



CHAPTER 5

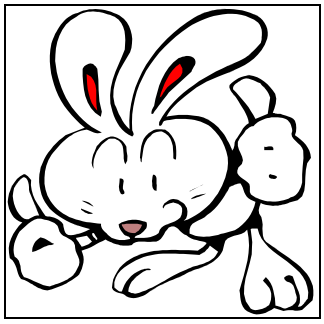
野菜への切り替え

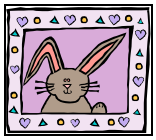
　従来のペレット中心の食生活を野菜中心へと切り替えるのは大変なことです。
とくに一歳を超えた個体はその改善には苦労します。しかもウサギは絶食に対して非常に弱い一面を持つため、強行するのも限界があります。まずは気長に構えてやってみましょう。
野菜はいろいろな種類を用意しますが、最初は大葉、パセリ、小松菜など少し苦みがありそうな緑色の濃い野菜から始めましょう。
嫌いな野菜があっても何日か入れていると次第に食べられるようになることがあります。
また、刻んだ野菜をペレットに混ぜてやるのも一つの方法です。

急に食事を切り替えると一時的に糞の状態が不安定になることがあります。
これは盲腸の細菌叢が正常なものに切り替わる際に起こるものなので、食欲があるなら問題とはなりません。肥満がなければ大抵は４日目以降には正常な糞を見ることができます。
また水分の含有量が多い食事ですから当然尿量は増えますが、これも問題ありません。ただ、体が濡れないような飼育環境とまめなトイレの清掃が望まれます。

すすきの動物病院で良く与える野菜

セロリ、パセリ、ブロッコリー、小松菜、チンゲン菜、アシタバ、キュウリ、キャベツ、レタス、白菜、葉大根
カブ（実と葉）、ラディッシュ（実と葉）、大根葉、京菜、ターツァイ、春菊、大葉、高菜、サラダ菜などなど。





あとがき

なんと５年ぶりの改訂となりました.
ずいぶんとさぼってしまったものです．皆さんすいませんでした.
ウサギの獣医療は日進月歩の世界です.
この五年の間にずいぶんと来院するウサギの病気も変わってきました.
今までは食事からくるトラブルが多く，食事の改善を指導するだけ治ってしまう物も少なくありませんでしたが，今は皆さん繊維質の重要性を良く認識していらっしゃるので，いわゆる毛球症（胃停滞）も少なくなりました.
　その代わり，長寿に伴い様々な病気が見られるようになり，その治療も手探りで行うものもまだ少なくありません.
しかしそれは獣医師の側のお話．自宅でできる健康管理で重要なのはとにかく食事．温度管理，衛生管理です.
ウサギの飼い主として気をつけなければいけないことは５年前と大して変わりないのです.

　繰り返しますが，健康を維持して行くに当たって食事は大変重要な位置を占めています 。与えて良いもの、与えてはいけないものなどは理由をきちんと付けて書いたつもりです。

それでは、一頭でも多くのウサギたちの健康を祈って。

最後に本書を作成するに当たり藤原様ご夫妻、レッキー君にはご尽力いただきましたことを心より感謝いたします。ありがとうございました。

平成 17 年 3 月 25 日

ウサギの飼い方（食事編）改訂版
２００５年３月２５日　改訂版発行

著　　者　　堀　雅人
発行所　　すすきの動物病院
〒225-0021 神奈川県横浜市青葉区すすき野 3-7-3
TEL (045) 904- 2066
FAX (045) 904-2096
URL　http://home.att.ne.jp/red/SVH/
e-mail　susukino@vet.ne.jp

記事・写真などの無断転載を禁じます。